

# 池田 雅子

I k e d a M a s a k o



## 観光をデータで分析

湯原温泉の旅館の子として生まれ育った池田さん。「小さい頃からお客さんにあいさつをしていましたし、遊びに行くときも、辺りが温泉街なのでどこに行っても、観光客に会いました」と、幼少の頃から観光客が身近な存在だったと言います。中学や高校の総合的な学習の時間に迷わず「観光」をテーマに選んだのも、「観光地で生まれ育ったというのが、私の強み。使命感のようなものを感じているし、興味があるので調査も楽しいです」と、池田さんにとっては自然なことだったようです。

池田さんは国のデータや、自身が観光地での

# 真

M A N I W A B I T O

# 庭人

## 湯原温泉から湧いてくる思い

聞き取り調査をして得た情報をもとに、観光に関する研究を行いました。その中でも、湯原温泉の外国人旅行者を増やす方策をまとめたレポートが「統計データ分析コンペティション」高校生で特別賞を受賞しました。「レポートを作るのは大変だけど、出来上がったときの達成感があります」と、笑顔を見せてくれました。

「湯原温泉は、緑に囲まれていて自然を近くに感じることが出来る温泉街。いつまでも観光客が訪れる場所であってほしいと思っています」。池田さんは、友人を湯原温泉に招くなどする一

湯原温泉街の砂湯付近



レポートの発表をする池田さん



## 池田 雅子さん(岡山市北区)

真庭市湯原温泉出身。岡山県立操山高等学校3年生。「統計データ分析コンペティション」で湯原温泉の活性化をテーマにしたレポートが、高校生の部で特別賞を獲得しました。

方で、観光客の減少を感じ、危機感を抱いています。「データを見ると、日本全国、どこも観光客は減っています。これから、あちこちの観光地のことを調べてみたいと思っていますし、全国の観光地が活性化してほしいと思っています」。池田さんは4月から大学の経済学部へ進学しますが、「根底にあるのは湯原。どこに行っても、湯原温泉とはずっと関わり続けたい」と、目を輝かせていました。

